

エコステーションだより

16

町で整備を進めているエコステーション。
 今月号は、8月24日に開催された浅麓地域ごみ処理総合検討委員会の内容と、生活環境影響調査の今後のスケジュールについてお知らせします。

専門家からごみ処理方式の評価報告

浅麓地域ごみ処理総合検討委員会では、浅麓地域での最適なごみ処理方法を検討する上で、専門的・技術的な見地での評価をするため、ごみ処理技術の専門家による部会(名称:専門審査会処理技術部会)を設置し、委員会での検討と並行して審議を進めてきました。
 8月24日に開催した検討委員会では、この処理技術部会から浅麓地域での最適なごみ処理方式について報告がありました。



検討委員会で報告書の説明をする
山本処理技術部会長

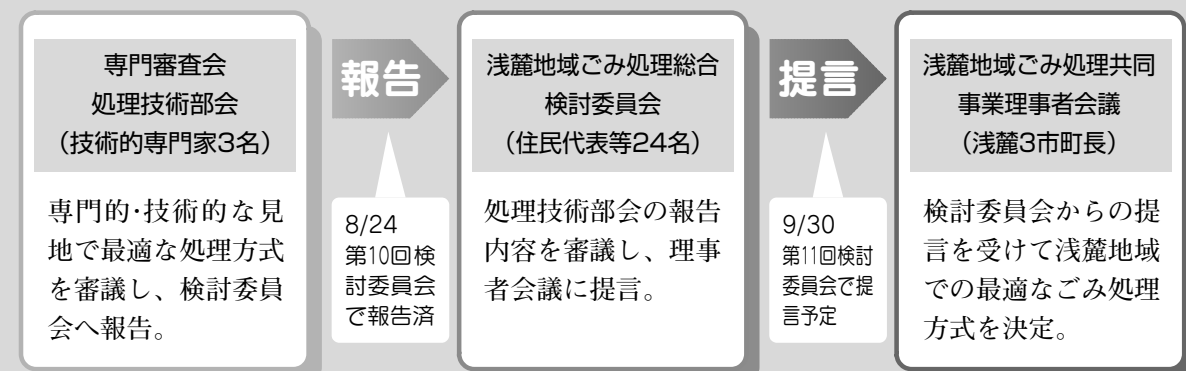
処理技術部会審議結果の概要

1. 最もふさわしい処理方式は、ストーカ式焼却方式※1である。
2. コストをかけても処理残渣を溶融スラグ化※2して資源化を積極的に進めていくことを目指す場合は、シャフト式ガス化溶融方式※1または流動床式ガス化溶融方式※1を選択することも可能と考える。
3. 流動床式炭化方式※1は、現時点では推奨できない。
4. ストーカ+灰溶融方式※1、キルン式ガス化溶融方式※1及びキルン式炭化方式※1は、推奨しない。

- ※1 各処理方式の特徴については広報やまゆり8月号に詳しく掲載しています。
- ※2 溶融スラグ:溶融炉で焼却灰等を高温で溶融した結果、生成されるガラス質の固化物。破砕加工して土木資材等に利用されています。

検討委員会ではこの報告を受けて、これから更に審議した上で提言書を作成し、浅麓3市町長からなる理事会に提言していきます。
 理事会ではその提言を受けて正式に方式を決定していきます。

ごみ処理方式決定までの流れ



生活環境影響調査のスケジュール

現在実施中の生活環境影響調査について、今後のスケジュールをお知らせします。

生活環境影響調査今後のスケジュール

現地調査
及び
概況調査

実施時期：平成17年5月～平成18年5月

※現地調査・現況調査、ともに終了しました。

予測・評価

実施時期：平成18年10月～平成18年11月

概要：数値モデルや類似事例等によって予測し、予測結果と予め設定した環境保全目標を比較して、生活環境への影響を評価します。

公告縦覧

実施時期：平成18年12月

概要：およそ1か月間、生活環境影響への予測・評価結果を公告縦覧します。

生活環境影響
調査評価書

実施時期：平成19年1月

概要：公告縦覧にて皆様からいただいたご意見等を踏まえて評価書を作成します。

※実施時期は現在での予定のため、検討委員会等の進捗状況により前後することがあります。

浅麓地域ごみ処理総合検討委員会の傍聴を希望する方へ

- 第11回浅麓地域ごみ処理総合検討委員会は、9月30日(土)午後1時30分から町役場大会議室で、第12回浅麓地域ごみ処理総合検討委員会は10月6日(金)午後1時30分からエコールみよた大会議室で開催する予定です。配布資料などの準備がありますので、傍聴を希望する方はそれぞれ開催予定日の前日までに事務局へ申し込んでください。
- 議事の内容によっては一部傍聴をお断りする場合や、審議持ち越しの場合には資料を回収することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 会場の都合により、傍聴希望者の人数が多い場合には入場制限をさせていただく場合があります。
- 傍聴者への配布資料は1枚20円です。傍聴を申込みの際に、資料の要・不要を申し出てください。

委員会の資料と議事録は、御代田町ホームページに掲載しています。

<http://www.town.miyota.nagano.jp/>

このコーナーに関する問い合わせは…生活環境課 環境施設係 電話(32)3111 内線14・68 まで